



青柳園だより

2026年
7月号
文京区立青柳幼稚園

互惠性のある関わり

園長 米澤 千秋

1学期も残すところ約2週間となりました。子どもたちは、色水やしゃぼん玉をしたり、プール遊びを楽しみに過ごしたりしています。先月は、4・5歳児が共に遊びを楽しんだり、園外のいろいろな人や場に親しんだりする機会が多くありました。

4・5歳児の日常的な関わり ～親しみ、憧れ、楽しさの共有～ 年長ゆりぐみで、ある男の子から始まったアイドルショー。仲間意識をもって遊びを進められるように先生が援助することで、魅力的な衣装やステージ・マイクなどが日々増えていきました。音楽をかけて熱唱したり、ポーズを決めたり。「アイドルショーにきませんか？」と職員室の先生や主事さんも誘い、大盛り上がり。4歳児ももぐみも連日ショーに通い、衣装を借りて一緒にステージに立つ姿もありました。そして裏方さんも大活躍！自作のペンライトをお客さんに配ったり、人形をたくさん作って客席に座らせたりと、それぞれが自分の得意なことや好きなことを生かして、遊びの中で力を発揮していました。一人一人みんなが主役！4、5歳児の関わりが一段と増え、日々育ち合っています。



児童館交流 ～小さいお友達を迎えて～ 先日、児童館の0～3歳児の親子を迎え、年長ゆり組と交流を行いました。少ししゃがんで小さい子と目を合わせて話し掛けたり、手をつないで遊びたい場所に連れて行ってあげたりと、優しく関わる姿が多くみられました。また、自分たちが作ったペープサートのお楽しみを披露し、たくさん拍手をもらい、満足感を味わいました。保護者の方から「幼稚園の子どもたちは、こんなにいろいろなことができるんですね」との感想をいただきました。子どもたちの姿を通して、青柳幼稚園の教育活動の一端を感じていただく機会となりました。「またぜったい、あおやぎようちえんにきてね！」と小さい子に声を掛けるゆり組の姿が、とても微笑ましかったです。

保育園交流 ～地域の同年齢の友達と～ 近隣の大塚保育園との交流を年間で計画しており、先日遊びに行きました。初めて会う友達を「鬼ごっこする人、この指と一まれ！」と誘ったり、一緒にサッカーや砂場で遊んだり、互いに名前を伝え合ったりする姿が見られました。みんなで体操やゲームをして楽しい時間を過ごした帰り際、「また来なくなっちゃったな」「幼稚園にも楽しいことがいっぱいあるよ。遊びに来てね」と、再会を約束しました。同じ地域に暮らす幼児同士で親しみを感じ、日常よりも少し大きな集団の中でいろいろな人との関わりを経験できるように、引き続き充実した交流活動を進めていきます。2学期以降、4歳児クラスの交流も予定しています。



今月中旬には、青柳小学校の「あおやぎまつり」に招待していただいています。今後も日常的な異年齢の触れ合いや、保幼小中との連携・交流、地域の中の幼稚園として近隣施設の活用・連携を推進していきます。

<お知らせ> 青柳小学校校庭 ヤナギの木について 青柳小学校校庭にある柳の木ですが、腐朽空洞化が進んでいることが判明しました。園のマスコットキャラクターのあおやぎちゃんが生まれた大切な木ですが、子どもたちの安全性を考慮し伐採することになりました。伐採後は新規にヤナギの若木を植栽することが検討されています。子どもたちにも事情を伝え、ずっと青柳幼稚園・小学校の子どもたちを見守ってくれたヤナギの木にありがとうの気持ちを伝え、“あおやぎちゃんのお引越し”を見守れるようにしていきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

